



2022 第 29 回世界年齢別大会代表選考方法

【トランポリン競技】

11-16 才 対象の部門

<選考大会>

- ・ 第一次選考会、および最終選考会の 2 回の選考会にて日本代表を選出する
 - 第一次選考会は第 9 回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会 (5 月 20 日～22 日) とする
 - 最終選考会は 2028 特別強化選手トライアウト内 (7 月 8 日～10 日開催予定) とする

<選考方法>

1. 第一次選考会
 - ① 第一自由演技と第二自由演技の合計得点で順位を決定する
 - ② 派遣標準得点に達した上位 2 名を日本代表として内定する
 - ③ 各部門内定者を除いた上位 6 名の選手及び、**第 9 回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会に出場した** 2024 特別強化指定選手、第 28 回世界年齢別大会日本代表選手(リザーブ含む)に対し最終選考会への出場権を与える
2. 最終選考会
第一次選考会と最終選考会で得点の高い方を有効得点とし、派遣標準得点に達した者から上位順に日本代表として内定する。(選考方法 1. で内定している選手を含む最大 4 名)

17-21 才 対象の部門

<選考大会>

- ・ 第一次選考会、および最終選考会の 2 回の選考会にて日本代表を選出する
 - 第一次選考会は第 9 回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会 オープン部門 (5 月 20 日～22 日) とする
 - 最終選考会は第 36 回世界トランポリン競技選手権大会 日本代表最終選考会 (6 月 16 日～18 日開催予定) とする

<選考方法>

第一次選考会と最終選考会において、予選得点の高い方を有効得点とし、派遣標準得点に達した上位 4 名を日本代表として決定する。

- ※ 全日本年齢別競技選手権大会の参加申し込みの際に、世界年齢別大会の選考を受ける旨の内容を記載すること
- ※ 世界選手権大会第一次選考会と併せて選考を申し込むことが可能。ただし、世界選手権と世界年齢別大会の両方で代表決定となった場合、どちらかの出場する大会を選択すること(両大会に出場することは認められない)
- ※ 全日本年齢別選手権大会が開催されない場合の選考については現在協議中。第 9 回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会が開催され、第 36 回世界トランポリン競技選手権大会日本代表最終選考会が中止となった場合は 1 大会のみでの選考となる。

11-16 才、17-21 才 共通内容

2022 第 29 回世界年齢別大会派遣標準得点

派遣標準得点	11-12 歳	13-14 歳	15-16 歳	17-21 歳
男子	88.0	92.0	96.0	56.5
女子	87.5	90.5	92.5	52.0

<リザーブ枠>

派遣標準得点に達したが上位 4 名に至らなかった選手については順位通りにリザーブとする。(各カテゴリ男女とも最大 2 名ずつ)

※ リザーブ選手も、開催規模に応じて可能な限り強化合宿への招聘をし、代表ジャージの購入、FIG ライセンス取得、WADA 教育プログラム受講等の案内を行い実施する。選手団出発予定日前に代表決定選手に何らかの事態が生じ、あきらかに代表決定選手が出発予定日に間に合わないと判断される場合、リザーブ選手の渡航・出場手続きが余裕をもって完了されるようであれば入れ替えを検討する。

<特別推薦枠>

代表 4 名に満たないカテゴリがあった際は、特別強化選手を強化本部推薦とし派遣を検討する。

<シンクロナイズド>

シンクロナイズドのペアは強化本部にて協議し決定する。

<その他>

- ・ 選考会への申し込みは、遠征に関わる案内・内容・指示・対応について全て容認するものとし、特に新型コロナウイルス感染症に対しては、いかなる予防策・対応策も受け入れられる方のみに限らせていただきます。
- ・ また、主催者側や協会の方針・指示等により大会の中止・規模の縮小や派遣人数が制限されることも予想されます。その場合は、方針や指示の内容によっては遠征の取り止め、開催規模・制限に応じて順位に沿った形で派遣選手数縮小の検討を行います。日本代表に決定され準備を進めていても、やむなく遠征に至らないことも考えられます。
- ・ 遠征費については、一部自己負担金額が例年より増額する可能性があります。

重ねて、選考会への申し込みは、上記内容につきましてあらかじめご了承ください、慎重に検討して行うようお願いします。

※ 派遣選手数縮小は仮定の話です。具体的な方針や話があるわけではありません。

2022 年 3 月 17 日
公益財団法人日本体操協会
トランポリン強化本部